

新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望書

令和 3年 7月30日

宇都宮市長 佐藤栄一殿

宇都宮市議会自由民主党議員会
会長 小林 紀夫
宇都宮市議会公明党議員会
会長 金沢 力

新型コロナウイルス感染は、世界的猛威が収まるどころか、新たな変異種の発生により感染が広がり、全国的にはPCR検査陽性者も過去最高に達している。

世界的には、ワクチン接種率も進んでいるが、国によって国民の接種率には格差があり、世界的な普及・接種には程遠い状況である。

これまで本市では、市民の理解・協力と医療従事者や本市関係部署の職員等の献身的な尽力により、感染者を食い止めてきたが、変異種の影響もありクラスター発生の深刻な事例も起きるなど予断を許さない状況が続いている。

現在、全国的に感染者が大幅に増加しており、政府は緊急事態宣言を拡大する方針を示し、本県においても警戒度レベル県版ステージ3における対応が求められるなど、感染拡大の第5波を迎え感染者が減少する見通しは立っていない。

感染拡大と長期化に伴い本市の市民生活や苦境に立たされている飲食業界など、地域経済への影響拡大が強く危惧されている。また、コロナワクチン接種率向上を目指し、接種するために必要な環境の整備や人材不足に至らないよう早急な対応が必要である。

本市は、これまでも市民の生命や安全安心と生活を守るとの決意のもと、様々な施策や取組を行っているものの、このような局面にあって、国・県との十分な連携と、現場の状況の迅速な把握により、後手に回らない対応や、感染収束に向けてさらなる対策が必要と考え、下記の項目について緊急に要望する。

記

- 1 市民に対してワクチンの早期接種するための体制と環境を整えること。
- 2 地域経済への影響は飲食店をはじめ小売店やサービス業など幅広い分野に拡大していることから、困窮する事業者へ支援が行き届くように、新たな措置を講じること。
- 3 飲食店の営業時間についての徹底と時短要請に伴う協力金については、本市独自の上乗せを実施することと、速やかな支援を行うこと。
- 4 本市外からの往来により、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を鑑み、本市への往来の自粛又は、延長について周知啓発すること。

- 5 新型コロナウイルス感染の収束に向けて、医療機関や関係する事業所などと更なる連携強化を図るなど、臨機応変に的確な対策を実行すること。
- 6 前例のない非常事態であるため、市長自らが前面に立ち、リーダーシップを発揮し、全庁一丸となり対応すること。

以上